

## 競技委員会議事録

2009年5月1日（金曜日）17時より、南陽市にて競技委員会を行いました。

競技委員の総数 5名 参加競技委員 高橋・砂間・松村

### 1. ルール変更に関して。

現在、ES（エンドオブスピードセクション）には到達しているが、ゴールには到達しなかった選手に対して、その選手の得られる時間得点は100%認められている。

これにより、あたかもESがゴールであるかのような扱いになってしまうと考えられる。

これはESの半径が小さすぎるため、距離得点がほとんど満点になってしまうことがひとつの原因であると考えられるが、地形・気象条件等を考慮した場合、ESの半径を大きく取るとは難しいのではないかという見解に至った。

よって、上記の選手は、その得られる時間得点を減点することとする。

### 2. ランキングの計算方法に関して。

国内のランキングの計算方法を変更し、ヒート制とする。

仕事・その他の都合により、競技の全日程に参加できない選手が数多く見受けられる。これらの選手に競技に参加する動機を与え、競技参加選手を増やすことがその目的である。

ヒート制の詳細は以下（検討中）。

1. 全フライト得点のうち、高得点のもの7本の合計。

2. 日本選手権に関しては、その得点を1.1倍する（日本選手権係数）。

これにより、各選手の最高得点は7500点付近になると思われる。

世界選手権選抜ランキングに関しては、とりあえず現状のままとしておく。

以下、審議項目（詳細は割愛）。

### 3. 来年度日本選手権開催地に関して。

### 4. 世界選抜ランキングの計算方法。